



野島活性化基本構想の方向性について（事業例）

将来、プロジェクトが進み、交流拡大と活性化の 好循環 が生まれる

茜島シーサイドスクールの魅力の向上

◆魅力的な情報発信

◆交通費の支援策

◆野島の強みを生かした授業の実施（総合授業）

漂着物を使ったアート作品制作、
みかん畑等による里山再生、夜間授業の実施、
野島ビエンナーレへの運営参加、
茜島つつじ再生計画、資格の取得を可能に 等

◆宿泊施設整備後、宿泊学習等の実施

◆学校・空家を活用した宿泊施設の整備

- ・欠航時の宿泊施設、体験入学時の宿泊
- ・交流合宿、宿泊学習

(2次利用)

- ・一般市民等の宿泊活用
- ・のしま時間をしっかり体感できる施設整備
- ・交流イベントが可能な施設

野島の利便性の向上

◆地域おこし協力隊の定住化支援

- ・野島の魅力の発信強化

◆地域・イベントなどの担い手の配置

◆野島海運のダイヤの改正

◆空き家等の活用（店舗・高齢者カフェ）

◆学校を活用した避難所等の整備

- ・公共施設の再編（出張所、公民館、診療所）
- ・安心・安全な地域づくり

◆産業の再構築

- ・野島の特産品など

野島の魅力の再発見

◆野島の滞在時間・利用回数を増やす仕組みの構築

- ・野島ならではの交流イベントの開催
- ・機運を盛り上げるイベントの開催
(県立大・地元企業による)
- ・高齢者の健康イベントの開催
- ・既存イベントへの積極的な参画

◆野島の自然を生かしたことでも高齢者も楽しめる空間整備（船の待ち時間を楽しむ仕組み）

◆空間的なハード整備の実施

- ・高齢者ウォーキングコース整備、ウェルカム看板設置